7月19日（日曜日）「もっと早く」

【新改訳 2017】

伝道者の書　12•1－7

「あなたの若い日に、あなたの創造主を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また『何の喜びもない』という年月が近づく前に。」（1節）

多くの視点から人生のむなしさを論じてきた著者は、今、終わりに近くなって重大な勧告をしています。それは、若いうちに、自分の創造主なる神を覚えよということです。そして、若い者もやがて老人となり、死を迎える日が来ることを忘れないようにという戒めです。

ある人は言いました。「若いうちは、自分が死ぬかもしれないということを全く考えない。」しかし、現実に何人もの若い人が死亡し、老人の自殺も絶えません。早く気づいて、自分のいのちの父なる神を信じようではありませんか。

数年前、87 歳の元大学教授が受洗されました。奥様が約 60 年間も祈っていたのです。この著名な教育学者は言われました。「もっと早く神を信じればよかった。私の教育学も変わって

いただろうに……」と。若いうちに、しっかりと主を覚えましょう。

～祈り～

主よ。「もっと早く神を信じればよかった」という証しが、一人でも多くの人の心に届くように、聖霊のみわざをなしてください。

【学びのために】

老後がわざわいの日とならないためには、人は自分の創造者なる神を覚えなければならないと教えられています。キリストにあるならば、年老いても、「外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」（IIコリント4•16）と言えるようになります。